

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	ご利用者お一人おひとりの思いを把握するよう努めてはいるが、日々の生活に慣れが生じて、「今ここで」の思いや、個性を見失いがちになることもある。	お一人おひとりの「今ここで」の思いと個性を大切に、その人らしさを引き出せるよう支援する。	お一人おひとりの性格やこれまでの生活をもう一度見直すとともに、ささいな表情、表現も見逃さないようにして気持ちの把握に努める。それにより、ご利用者が自由に喜怒哀楽を表現できる環境を作る。	12ヶ月
2	35	終末期について、基本方針の共有や大まかなマニュアルはあるが、具体的に方法論が確立されていない。	終末期をいつでも安心して迎えられる体制づくりを行う。	ご利用者、ご家族の意思確認の方法、終末期の定義、ホーム内で行えることとできないことの明確化などについて、体制を整えるとともに、ご利用者、ご家族への説明、意向の把握を続ける。	12ヶ月
3	2	近隣の方々との日常的なお付き合いがなかなかできない。	近隣の方々と交流を深める。	日常的な散歩を増やし、近隣の方々と日常的に会う機会を増やし、顔見知りを増やしていくとともに、施設行事に招待したり、防災計画に協力いただいたり、地域行事に参加するなどして交流を深める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。